

祖母山（1756m）日本百名山

2024年5月30日 Shiba

九州のど真ん中位置する祖母山。入下山口としては、所要時間的にも一番手軽で、周回が可能な北谷登山口を選択した。主要道路から登山口までの取り付け道路は7~8kmほど。途中砂利道の所もあるが年々整備をしているのであろう、登山口側の半分以上の距離は綺麗に舗装されており登山口の駐車場やトイレもよく整備されている。

前泊地からレンタカーで登山口へ。駐車スペースは20台程か、満車になれば少し手前の道路脇やさらに手前に10台程分の駐車スペースがある。ゆっくりと支度を整え8:05にスタート。周回の順番としては風穴コースを登りにし千間平コースを下りにすることにした。理由は風穴コースに入って10分程の所に渡渉地点があり大雨の後には注意を喚起するWebサイト上の書き込みがあったため、登り初めの時点で状況を確認しておきたかったためである。ところが現地には丸太を組み合わせたしっかりとした橋が渡してあり心配は無用。ボランティア団体によるものだろうがまだ真新しい。

最初は谷筋のゆるやかな道を行く。ごろついた石も全くない歩きやすい道だ。30分程行くと登りが始まる。要所要所にロープや梯子があり、1時間程で風穴に着く。涼しい風が吹いているとのことだが、季節のせいかな筆者には涼しさは感じ取れなかった。コースは樹木に覆われているためほとんど展望が利かないが、登り始めて2時間程の所で西向きに展望の利く突き出た岩棚ある。広くはないので景色を写真に取るにも腰が引ける。さらに上り詰めると今度はぬかるみ帯に出くわす。急なところでもあるのでできるだけ草の生えている所を選んで登る。ほぼ頂上の一步手前にはまだミヤマキリシマのつぼみのある株も目立ちまだまだ季節なのだなど感じさせてくれる。

頂上には10:30到着。雲は9割以上か、視界を遮る雲ではないので展望は良好。阿蘇山、



北谷登山口



風穴コースの渡渉地点の橋



祖母山頂上

九重連山がよく見える。霧島岳も視界内のだろうが筆者には特定はできなかった。

予定よりも30分程も早く着いたのでゆっくりと展望を楽しんでから千間平方面に向けて下山。こちらのコースはなだらかで危険な所もなくブナやならなどの広葉樹帯を気持ちよく歩かせてもらえる。コースタイム5時間に対して筆者の足で4時間10分の歩行。今年初めての百名山であるが、今シーズンもまだいけるかなと励みになる山旅であった。

◆間一髪の通行止めタイミング

祖母山の取り付け道路に入った所に看板があり、道路工事の為6月3日より8月31日まで、平日通行禁止、土休日通行可とある。昨年は6月に入ってすぐの日程で計画を立てたところ、大雨のためにキャンセルをする羽目に。それで今年は1週間早めて5月下旬の日程で計画。この事で難を免れることができ、一瞬胸を撫で下ろした。下山途中で関東のツアー団体に出あった。最後尾のツアーコンダクターの方に「来週からの平日の通行止めについては把握されてましたの?」と聞くと。「いや〜、知りませんでした。」との事で、その方も安堵のようであった。



阿蘇山を望む

◆アユの解禁で宿は繁盛

高千穂の延岡側に位置する日之影町の旅館に一泊した。五ヶ瀬川沿いの谷あいでは山が迫っているため新しい道はるか山の上を通っている様などころである。一人で寝るのが精いっぱい部屋が6部屋で、父ちゃんと母ちゃん切り盛りしている宿である。ご主人の年齢は60歳台か。地理的に規模的に普通ならば年季の入った建物を手入しながらなんとか持たしているところと思うが、しかし泊まった宿は真新しいピカピカの宿。ご主人に聞くと、6/1のアユの解禁になれば、関東方面からの釣り人が3日、4日と連続で泊まりに来るとの事。ここのアユの味は特別とのことで、釣ったアユは冷凍にして送るのだそうだ。そんな訳で繁盛しているようだ。

◆メンバー：S、他1人

◆コース：北谷登山口 8:05～風穴～祖母山 10:30～国観峠～千間平～北谷登山口 13:00

◆所要時間／歩行時間：4時間55分／4時間10分



風穴



九重連山を望む



祖母山山頂のミヤマキリシマ